

7 私は、成木のことや他の地域のことを学んだり、知ったりすることが楽しいと思う。



8 私は、学習を楽しんでいる。また、学んだことを生かしている。



9 私は、英語の学習が楽しい。



10 私は、運動するのが楽しい。また、健康に注意して過ごしてる。



11 私は、タブレットを使った授業は分かりやすいと思う。



12 私は、自分の集めた資料をルールを守って使っている。



よい点や気になる点、お気づきの点などの記述

「わからない」が多く恐縮ですが、子がまだ入学したばかりで、家で聞く話も抽象的であったり、本人の成長を感じる機会も少ないため、憶測で評価をすべきでないと考えこのような回答をさせていただきました。項目2については、よくあてはまるとは思いますが、大変僥倖ながら、少し厳しいように感じる時もあります。例えば、挨拶は大切なことですが、内向的な児童にも最初から大きな声出しを求めるとなどは、挨拶を、自発的にする気持ちのいいものではなく、強制されてするもの、という印象を与えたくないかと少し心配になりました。項目8,13については、担任の先生を想定して回答させていただきました。単元についていけるように手厚くフォローしていただき、自分の納得のいく字が書きたい児童のこだわりを時間の許す限り待っていただき、時としてある「どうしてもやりたくない」気持ちにも優しく寄り添っていただきと、大変感謝しております。少数者を活かし、子どもの能力に合わせ、性格や個性を尊重した関わりをしてくださっていると感じます。以上、長くなりましたが、一意見としてお納めいただきますと幸いです。

いつも先生方には親身になってご指導・お見守りいただきまして誠にありがとうございます。●たてわり班や委員会の活動に触れ「〇年生の〇〇(ニックネーム)は絵が描くのが得意なんだよ」「〇〇くん/さんが本を読んでくれたよ」など他学年の児童さんについて家で話をする機会が増えたように思います。●ゲストティーチャーによるイベントについても多くの刺激があるようで、先日のパラリンピアンの方によるイベントのあと興奮気味にその日聞いたことや感じたことを共有してくれ、子どもが聞き学んだことを通して、親も新しい世界に触れているように思います。一家庭では難しい、学校ならではの貴重な機会を今後とも設けていただけましたら幸いです。●ICTの活用という面については、子どもの調べ物などに家庭でも積極的に活用できるように教育委員会へ働きかけていただけたらと思います。「どうしてこうなの?」「これはどうなっているの?」など、子どもの知りたい意欲が高まる年になり、家庭のデバイスで調べ物をしていきますが、検索の履歴が家庭と学校で紐付かない不便さがあります。●Webサイトで掲載いただいているスクールバスの時刻表は、外出先などですぐに確認できない際に大変助かっています。●子どもの学校での気になる様子を担任の先生から伺い、家庭の様子や考え方や擦り合わせて子どもの心身の成長を共に見守り支えるご相談ができることは、親としても大変貴重で大切な機会だと考えております。お忙しい中、子ども一人ひとりに深慮くださっていることに心から感謝しております、先生がおひとりでお悩みず遠慮なく家庭と相談できる環境づくりができればと願っています。

大事な事がお便りだけでなく、2重に発信して取りこぼしの無いようにできないだろうか。学校目線での変革が多く、戸惑うことが多い。

いつもご指導ありがとうございます。

いつもお世話になっております。娘はあまり体が強くないのですが担任の先生や川崎先生が日頃から気にかけて見てくださるので安心してお任せしています。先日早退した時には校庭にいた校長先生が娘に声をかけて下さって娘も嬉しかったようです。これからも宜しくお願い致します。

いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

アンケート結果からの考察

1 回答率について

今回のアンケートの回答率は69%でした。前回より低下しています。年間2回実施し、比較する予定でいます。そのため項目を変えることはできませんが、回答数が少なかったことを配慮し、来年度は項目数を減らすことや、資料を添付するなど変更していきたいと思ひます。

2 項目9・11・12・16の「わからない」との回答が多いことについて

英語学習やタブレットの活用状況、利用の仕方については、ご家庭へお伝えする場面が少なかったのかと思います。各学年のお便りだけでなく、学校からも何らかの方法でお伝えしていくよう検討してまいります。また、災害時の指導については、主体的に行動できるよう毎月避難訓練等で指導していますが、実際に保護者の方が見る機会は、引き取り訓練ぐらいしかありませんでした。来年度は、授業参観時など、保護者の方も含んだ避難訓練やPTAと協力して災害訓練などを検討していきたいと思ひます。

3 項目13の児童理解について

「あてはまらない」の標語が多い結果でした。児童が楽しく学校へ通うように努めていないのご意見かと思ひます。毎週1回、全教員が児童の様子について共通理解し、対応や方針について検討をしています。今後とも児童に寄り添って接していけるよう努めてまいります。

4 児童項目6の体験したことを伝えたいかについて

肯定的でない回答が多くありました。体験したことを自分で価値付けることができず、伝えたいという気持ちにつながらない、伝えたい内容ではないなどの理由が考えられます。学校では、様々な体験活動を実施しています。活動後には、互いに評価し合うとともに、振り返りを行い「体験」を「経験」にしていくことで誰かに伝えたいという気持ちへとつなげていきたいと思ひます。ご家庭でも学校の様子を児童から聞いていただき、価値付けていただきますようご協力をお願いいたします。

5 記述から

- ・感謝のお言葉、ありがとうございます。今後とも皆様のご理解・ご協力がいただけるよう努めてまいります。
- ・あいさつについて厳しすぎるのではのご意見がありました。たしかにあいさつを強要すべきではないと思う場面もあります。児童には朝会で「あいさつは魔法の言葉」だと話しました。知らない人であっても「あいさつ」なら、声をかけることができます。多くの人と仲良くなるのに役立つことを体験を通して伝えていけるようにしてまいります。
- ・大事なことは二重で発信してほしいのご意見がありました。連絡は全ての人に伝わらなければならないと考えています。様々な方法で伝えていけるよう努めてまいります。全てで二重に発信できない場合もあるかと思ひます。今後とも方法についてご助言いただきたく存じます。
- ・ICTの利用方法については、市教委とも連携を図り、活用を進めてまいります。セキュリティの設定など様々な見解があるようです。快適な利用ができるよう今後とも市の連絡会等で伝えてまいります。
- ・家庭と相談できる環境づくりをしていきたいのご意見、ありがとうございます。学校だけでは解決できないことも多々ございます。また、ご家庭だけにお願いしていても児童のよりよい成長にはつながらないと思ひます。家庭と学校、そして地域との協力が必要だと思ひます。今後ともご協力をお願いいたします。

ご多用のところアンケート記入のご協力、ありがとうございました。また結果配布が遅くなり申し訳ありません。

12月になりましたら、第2回アンケートがあります。紙面とウェブの両方で実施しますので、ご協力をお願いします。